

令和5年度第5回鮫川村地域公共交通協議会会議録

<開催概要>

■日 時：令和6年1月24日（水） 15：00～

■場 所：鮫川村役場 正庁

■出席者：[鮫川村地域公共交通協議会委員] 出席12名

[オブザーバー] 2名

[事務局] 4名

村づくり推進室：室長、矢吹係長、宇佐見主査、藤田主任主事

■配布資料：第5回鮫川村地域公共交通協議会 次第等

1. 開 会

出席者12名 委任状8名 21名の委員のうち、協議会規定により過半数の出席がありますので本会議は成立しています。また、オブザーバー2名が出席しております。

2. 会長あいさつ

ご参加ありがとうございます。

5回目ということで、皆様のお手元にある資料により、いま行われている「デマンド交通」について効果検証及び次年度の予算が協議案件となっています。

先日「デマンド交通」を私も利用してきましたが、感想としましては、ドライバーの方も気さくで、利用者の皆さんに声かけしてくださっていて、非常に評判が良い。徐々に、村民の皆さんの生活に必要なだという認識が浸透してきていると思います。

利便性が良いのがわかってきたら、浅川町、棚倉町に行きたい。という意見も出てくるのかと考えていました。アンケート調査の結果や、ご意見については後ほどご覧いただき、委員の皆様にもご検討いただきたいと思います。本日は慎重審議どうぞよろしくお願いいたします。

3. 協 議

報告第1号 令和5年度デマンド交通実証運行の利用状況について
事務局より資料について説明。

1月中旬に20名の登録が新規追加となっております、うち7名の方が利用しているとのことです。

土曜日については、ご家族が送迎したり病院が休みのため、利用が少ないのではないかと考えられます。

【委員】

報告第1号4利用者の傾向について表の「村内」とはどういうところですか

か？

【事務局】

自宅から利用されるので「村内」という表記をしています。

【委員】

運行内容がグループホームの方の利用者ニーズに合わなかったようです。衣料品の購入を希望していますが、埴町に衣料品店がなかった。これらが解消されれば、土曜日の利用が増えるのではないかと思います。

【事務局】

靴や衣服の購入は、たんぼぼの家施設長の江尻氏へのヒアリング時に把握しています。次年度から運行範囲の拡大を検討したいです。詳しくは後述します。

報告第2号 次年度のデマンド交通に向けた地域公共交通計画の評価検証
事務局より資料について説明。

デマンド交通のPRについては、村広報やチラシを全戸配布したほか、皆さんの机の上にある、「デマンド交通」の利用促進のためのポケットティッシュを村内公共施設を中心に配布しています。

報告第2号次年度のデマンド交通に向けた地域公共交通計画の評価検証について、P12（2）デジタル技術の最新技術を活用した運営手法の検討について、「キャッシュレス決済」の検討を行ってきた旨を加入。

【委員】

資料P4表中の「ひだまり荘」については、実際に「ひだまり荘」の住宅に居住している人なので、「村内」の標記に直したほうが正しいと思われます。

【事務局】

「村内」表記に修正します。

【会長】

外出機会の増加への寄与とありあすが、この数値について、全国的なデマンド交通の実施状況と比較すると、本村の状況はどのような見解が得られますか？

【コンサル】

前例や他地域の傾向は、おおむね10～20%ぐらいとなっています。鮫川村の「30%」はとても高い傾向だと考えています。

【会長】

これは、今まで、地域の「足」がなかった方が、地域に出る機会が創出されたということの認識で良いですか？

【コンサル】

その認識で良いです。

【会長】

1月13日以降の運行状況について、補足をお願いします。

【事務局】

基本的には毎日利用者がおり、埴厚生病院への利用が多い状況です。1月に入ってから、1日あたり3人の利用があると聞いています。

【会長】

日によって利用人数が多い理由は何ですか？

【事務局】

さざり荘への団体（4～5人）での利用や、埴厚生病院への通院で乗合が発生しているようです。

＊次年度以降の動きとしては、令和6年度は実証事業を継続しつつ、棚倉町図書館への乗り入れなどを検討していく。ということになっているので、よろしくお願いいたします。

【委員】

資料P14 令和5年度の実証運行と今後の動きについて詳しく説明してほしいです。

【事務局】

あおぞら号をなくすということではなく、今の定時定路線を残しつつ、あおぞら号が走らない時間帯に棚倉町方面へ「デマンド交通」を運行することであおぞら号の経費削減を図れないか検討していきます。

②埴線の利用人数は「わずか」なので、利用者データを精査していきます。

③石川線については、実証運行やニーズ調査をしながら、「デマンド交通」への切り替えなどの検討をしていきます。

地域公共交通協議会では、この村に住み続けられる取組みを検討していくとされています。その中で、福島交通が運行している石川線についても、「デマンド交通」という地域住民のニーズに合わせた運行をしたほうが経費削減になると考えられます。

【委員】

P12にAIデマンドの導入とあるが、若い人は、予約アプリがあれば利用しやすいし、若い人の利用が伸びるのでないかと考えられます。

【事務局】

AIデマンドは高額であり、システムはランニングコストがかかってくる。現在の利用者数では、なかなかAIデマンドの導入を考えるのは難しい状態。仮に若い人の利用が増加すると見込んで多額の税金を投入するか、よく考え

ていかないと導入については、難しいと考えている。

【会長】

公共交通の本村の取組みが県でも良い取り組みだといわれており、県から「他の市町村にこのような取り組みを実施してはどうか」、という周知があり、今後他の市町村についても、このような取り組みを実施してくる話はいくつかの市町村から上がっています。(報告のみ)

【委員】

運行を受託させていただいている立場ですが、今後の実証運行の期間を明確にさせていただきたいです。

乗務員の雇用もあるため、突然半年後に無くなるなど、急な変更は困ります。鮫川村の予算が有り余っているのであれば、構いませんが、実証運行をいつまでやるのか、本運行はいつなのかご提示ください。

【会長】

実証運行は県の予算をいただいて実施していますが、事務局としても有利な財源を確保していくことが必要となります。

報告第3号 令和5年度決算予定の報告について
事務局より説明。

議案第1号 令和6年度事業計画―(案)―について
拍手にて承認

議案第2号 令和6年度収支予算―(案)―について
拍手にて承認

4. その他

次回開催について 令和6年4月頃

5. 閉会